

令和7年12月実施

項目	質問内容及び目標値	総合	学校による考察・改善方法		評価	アンケート結果(%)					肯定率 (1, 2の計)
						1	2	3	4		
学習指導と教育課程	年間計画どおりに学習指導が進めている。 目標値: 肯定率80%(教①)	A	様々な行事を実施しながらも、授業時数の確保に努めた。来年度に向けて、積残しがないよう各教科で進捗状況を把握して進めるとともに学習内容の更なる充実に努めたい。	教職員①	A	56	44	0	0	100	
	よく分かる授業に努めている。(よく分かる授業をしている。)	A	「できている」「おおむねできている」と評価している生徒が86%おり、高評価であり、保護者の評価も今年度Aに上昇した。ICTを活用するなど個別の指導に努めた成果と考える。今後も継続して「分かる授業」を推進できるよう各教科で工夫に努めたい。	教職員②	A	31	69	0	0	100	
	自分の考えをまとめたり、伝え合う授業改善に取り組んでいる。(生徒:じっくり考え、進んで発言・話し合い。)	A	生徒の評価はAまであと一歩のところである。教員としては、ロイロノートなどICTを取り入れて、練り合い、高め合う授業改善に努めてきた。今後も工夫して話し合い活動を積極的に取り入れ、深い学びにつながるような授業改善を図りたい。	生徒⑪	A	40	46	10	3	86	
	道徳の時間を要に「心を耕し鍛える」道徳教育を推進している。(自分の思い・考えを深めている。)	A	教員の熱心な授業研究により、各学級で充実した道徳の授業が進められており、生徒の満足度は高い。今後も自分の思いを伝え合い、道徳の実践力を高める授業改善を目指す。また、一層の研修により教師の授業力を更に向上させたい。	保護者⑥	A	17	65	14	4	82	
	授業に真剣に取り組む、学力向上を目指して努力している。	A	平素から、生徒、教師ともに授業に真剣勝負で授業に取り組めており、肯定率が高い。一方で3や4と回答している生徒もいる。今後も生徒個々の状況に応じて、基礎・基本を確実に定着させる指導に取り組みたい。	地域		-	-	-	-		
	家庭での学習習慣が身に付く指導をしている。(身に付けている。)	B	授業で家庭学習の仕方について指導し、テスト期間中に家庭学習の記録を付けさせたり、放課後に個別指導をしたりなど、家庭学習の充実の一助としてきた。今後は生活習慣について、学校保健委員会や家庭と連携し、効果的な取り学習への組み方を継続して指導したい。	教職員③	A	25	75	0	0	100	
	生徒会活動・学校行事・部活動等で充実した活動を展開している。(充実している。)	A	小中合同運動会や文化祭などの諸行事や部活動等を通して、教員も生徒も充実感を感じることができた。保護者も生徒の成長の様子を間近で観ることができ、喜びを感じている。今後も、改善を図りつつ、南伊予の伝統を一層発展させるよう教育活動を充実させる。	生徒②	B	37	41	19	3	78	
	伊予中「私たちの信条」に取り組むよう継続的に指導している。(実現できるよう取り組んでいる。)	A	校長のリーダーシップの下、伊予中「私たちの信条」を基本とした教育活動を実施できた。今後も一層の充実を図りたい。	保護者		-	-	-	-		
	学校関係者評価委員の所見	エイリスなどICTを活用しながら基礎的・基本的事項の定着や伝え合う学習を充実させ、学力向上へと繋げる取組に努めてきた。道徳科についても教員の丁寧な準備をする真摯な姿勢が生徒に伝わっている。家庭学習のいろいろな形態にも目を向けつつ、今後一層家庭と連携を図ってほしい。		学校の対応	授業や小中合同運動会、文化祭等の行事や部活動等を通して、生徒は学校生活に充実感を味わい、地域の担い手として成長している。授業にも真剣に取り組んでいる。今後も南伊予の伝統を大切にし、生徒の更なる成長を促すことができるような教育活動の充実を図りたい。また、保護者と連携して家庭学習等、自ら学ぼうとする生徒の育成に努めたい。						
人権・同和教育	一人ひとりを大切にし、人間尊重を基盤とした集団づくりができている。	A	全校体制での取組により、教職員・生徒・保護者ともに評価が高く、相互の信頼関係を築くことができた。特に保護者の評価が20%以上上昇し、学校の取組への理解が進んだ。今後も家庭との連携を一層密にして、誰一人取り残さない学校作りを目指す。	教職員⑤	A	50	50	0	0	100	
	人権・同和教育に計画的に取り組む、人権意識の高揚を図っている。(仲間づくりなどに進んで取り組んでいる。)	A	全校体制での取組に、四者とも高い評価を得た。研修体制を充実させ、教職員が深い学びをし、授業に反映させた。人権委員会も活動を発展させ、実践力を高めた。今後も生徒の主体的な行動に基づく支持的風土のあるより良い集団作りを目指す。	生徒①	A	43	50	6	1	93	
	目標値: 肯定率80%(教⑤・生①)			地域		-	-	-	-		
学校関係者評価委員の所見	地区別懇談会に教職員が参加し、講師を務める等したことは、地域との連携を深める意味で重要である。「いよの日」を通じた人権意識の向上は、生徒の実践力の育成に大いに役立っている。今後も一人ひとりを大切にする教育及び人権意識を高める教育を実践してもらいたい。		学校の対応	今年度も、人権・同和教育について教職員の研修体制を充実させ、深い理解と考察の下、授業実践を重ねてきた。地区別懇談会にも参加し、地域との連携を深めた。人権委員会でも学びを深め実践力を高めた。今後も教職員の研修を一層深め、保護者と連携し、生徒の実践力を高め、安心感のある学校生活の実現に努める。							
	一人ひとりを大切にし、人間尊重を基盤とした集団づくりができている。	A	全校体制での取組により、教職員・生徒・保護者ともに評価が高く、相互の信頼関係を築くことができた。特に保護者の評価が20%以上上昇し、学校の取組への理解が進んだ。今後も家庭との連携を一層密にして、誰一人取り残さない学校作りを目指す。	教職員⑥	A	19	75	6	0	94	
	目標値: 肯定率80%(教⑥・生⑦・保①)			生徒⑦	B	30	33	33	4	63	
人権・同和教育	人権・同和教育に計画的に取り組む、人権意識の高揚を図っている。(仲間づくりなどに進んで取り組んでいる。)	A	全校体制での取組に、四者とも高い評価を得た。研修体制を充実させ、教職員が深い学びをし、授業に反映させた。人権委員会も活動を発展させ、実践力を高めた。今後も生徒の主体的な行動に基づく支持的風土のあるより良い集団作りを目指す。	保護者①	C	18	38	34	10	56	
	目標値: 肯定率80%(教⑦・生④・保④)			地域		-	-	-	-		
	伊予中「私たちの信条」に取り組むよう継続的に指導している。(実現できるよう取り組んでいる。)	A	校長のリーダーシップの下、伊予中「私たちの信条」を基本とした教育活動を実施できた。今後も一層の充実を図りたい。	教職員⑦	A	44	56	0	0	100	
学校関係者評価委員の所見	地区別懇談会に教職員が参加し、講師を務める等したことは、地域との連携を深める意味で重要である。「いよの日」を通じた人権意識の向上は、生徒の実践力の育成に大いに役立っている。今後も一人ひとりを大切にする教育及び人権意識を高める教育を実践してもらいたい。		学校の対応	今年度も、人権・同和教育について教職員の研修体制を充実させ、深い理解と考察の下、授業実践を重ねてきた。地区別懇談会にも参加し、地域との連携を深めた。人権委員会でも学びを深め実践力を高めた。今後も教職員の研修を一層深め、保護者と連携し、生徒の実践力を高め、安心感のある学校生活の実現に努める。							
	一人ひとりを大切にし、人間尊重を基盤とした集団づくりができている。	A	全校体制での取組により、教職員・生徒・保護者ともに評価が高く、相互の信頼関係を築くことができた。特に保護者の評価が20%以上上昇し、学校の取組への理解が進んだ。今後も家庭との連携を一層密にして、誰一人取り残さない学校作りを目指す。	生徒④	A	60	32	7	2	91	
	目標値: 肯定率80%(教⑧・生⑥)			保護者④	A	29	65	4	1	95	
人権・同和教育	人権・同和教育に計画的に取り組む、人権意識の高揚を図っている。(仲間づくりなどに進んで取り組んでいる。)	A	全校体制での取組に、四者とも高い評価を得た。研修体制を充実させ、教職員が深い学びをし、授業に反映させた。人権委員会も活動を発展させ、実践力を高めた。今後も生徒の主体的な行動に基づく支持的風土のあるより良い集団作りを目指す。	地域		-	-	-	-		
	目標値: 肯定率80%(教⑨・生⑮・保⑧)			教職員⑧	A	44	50	0	6	94	
	伊予中「私たちの信条」に取り組むよう継続的に指導している。(実現できるよう取り組んでいる。)	A	校長のリーダーシップの下、伊予中「私たちの信条」を基本とした教育活動を実施できた。今後も一層の充実を図りたい。	生徒⑥	A	42	44	11	3	86	
学校関係者評価委員の所見	地区別懇談会に教職員が参加し、講師を務める等したことは、地域との連携を深める意味で重要である。「いよの日」を通じた人権意識の向上は、生徒の実践力の育成に大いに役立っている。今後も一人ひとりを大切にする教育及び人権意識を高める教育を実践してもらいたい。		学校の対応	今年度も、人権・同和教育について教職員の研修体制を充実させ、深い理解と考察の下、授業実践を重ねてきた。地区別懇談会にも参加し、地域との連携を深めた。人権委員会でも学びを深め実践力を高めた。今後も教職員の研修を一層深め、保護者と連携し、生徒の実践力を高め、安心感のある学校生活の実現に努める。							
	一人ひとりを大切にし、人間尊重を基盤とした集団づくりができている。	A	全校体制での取組により、教職員・生徒・保護者ともに評価が高く、相互の信頼関係を築くことができた。特に保護者の評価が20%以上上昇し、学校の取組への理解が進んだ。今後も家庭との連携を一層密にして、誰一人取り残さない学校作りを目指す。	保護者		-	-	-	-		
	目標値: 肯定率80%(教⑩・生⑧・保⑨・地①)			地域①	A	73	20	0	2	94	

項目	質問内容及び目標値	総合	学校による考察・改善方法		評価	アンケート結果(%)				肯定率
						1	2	3	4	
生徒指導	いじめに対して誠実な態度で未然防止、早期発見、早期対応に努め、不登校に対して寄り添いともに考える対応に努める。 目標値：肯定率80%(教⑪・生⑬・保⑩)	A	アンケートや観察等により、学級担任を中心に学校全体で連携して未然防止や早期発見・早期対応に取り組んだ。スクールソーシャルワーカー等にも生徒に親身になって対応していただいた。今後も保護者と連携し、常に緊張感を持って対応する。不登校生徒については、心のケアや学力保障、登校に向けた取組を充実させる。	教職員⑪	A	44	50	6	0	94
				生徒⑬	A	58	33	5	3	91
				保護者⑩	A	31	56	7	6	87
				地域		-	-	-	-	
	様々な機会を通じて生徒と関わり、生徒理解に努めている。 目標値：肯定率80%(教⑫・生⑭・保⑪)	A	日々の日記指導や観察、言葉掛けなどにより、生徒理解を深め、様々な原因で登校に不安を抱えていても、生徒が安心して学校生活を送ることができるように努めてきた。今後も保護者やスクールカウンセラー等と連携し、個に応じた生徒指導を充実させる。	教職員⑫	A	50	50	0	0	100
				生徒⑭	A	55	36	7	2	91
				保護者⑪	A	33	58	4	5	91
				地域		-	-	-	-	
	生徒も教師も気持ちのよいあいさつができる。 目標値：肯定率80%(教⑬・生⑯・保⑤・地②)	A	教師が率先して挨拶を励行し、生徒の自発的な挨拶を喚起して、充実を図ってきた。地域の評価も高く、挨拶の活性化に向けた毎日の地道な取組の成果が上がった。今後も挨拶を生徒理解・生徒指導の基礎・基本として取り組んでいきたい。	教職員⑬	A	38	50	13	0	88
				生徒⑯	A	46	39	13	2	85
				保護者⑤	A	25	63	11	1	88
				地域②	A	30	62	9	0	91
安全管理	朝食をとる、身だしなみを整える、時間を守るなど基本的な生活習慣が身に付くよう指導している。(身に付いている。) 目標値：肯定率80%(教⑭・生⑨・保②)	A	基本的生活習慣の定着のため、保護者と連携して、生徒の自発的な取組を促してきたところ、ほぼ全ての生徒が朝食を自発的に摂るなど成果が表れている。また、真面目な態度で生活できしており、外部の評価も高い。今後も保護者と連携し、継続して指導したい。	教職員⑭	A	56	38	6	0	94
				生徒⑨	A	62	29	8	1	91
				保護者②	A	48	45	4	2	94
				地域		-	-	-	-	
	学校関係者評価委員の所見	地域から、生徒の気持ちの良い挨拶に高評価をいただくことができた。いじめ防止のため、アンケートや声掛け等を充実させ、早期発見と対応に努めている。不登校について、生徒・保護者に寄り添いともに考える姿勢は大切である。今後も生徒の心を大切にした指導の充実に努めてもらいたい。	学校の対応	今年度は、人権委員会が中心となり、毎月の「いよの日」に様々な呼び掛けを行い、生徒の、温かな人間関係を構築する力の育成を図った。進んで人を助けたり、ボランティアに取り組む生徒が増えている。また、進んで明るい挨拶ができています。地域からも挨拶についてほめていただいた。今後も学校の支持的風土の確立のため、様々な取組を推進する。						
	保護者・地域と連携し、地域ぐるみの安全確保に努める体制ができている。(生徒：安全な登下校) 目標値：肯定率80%(教⑮・生⑩・保⑫・地③)	A	「児童生徒をまもり育てる協議会」等を通して、関係機関や地域と連携し、社会ぐるみで生徒を守る体制を作ってきた。今後も自転車の乗り方等、登下校の交通安全について継続的な指導をしていく。	教職員⑮	A	56	44	0	0	100
				生徒⑩	A	82	17	1	0	99
				保護者⑫	A	44	55	1	0	99
				地域③	A	44	38	8	0	82
	避難訓練等を計画的に実施し、非常時に対応できる体制をとっている。 目標値：肯定率80%(教⑯・生⑰・保⑬)	A	様々な想定の下での避難訓練を実施し、生徒・教職員がともに真剣に取り組んできた。今年度は、消防署員による避難訓練の評価や講話、消火訓練を行った。今後も、命を守る行動について指導の充実を図る。	教職員⑯	A	69	31	0	0	100
				生徒⑰	A	79	17	3	1	96
				保護者⑬	A	46	54	0	0	100
特別支援教育	校内安全点検を定期的実施し、潜在危険の除去に努めている。 目標値：肯定率100%(教⑰)	A	破損箇所についての情報が逐次集まり、市教育委員会のご支援の下、早期発見・修繕により、生徒が安全・安心な学校生活を送ることができるよう努めてきた。今後も校内点検を継続し、安全な施設環境を保つよう取組を推進する。	教職員⑰	A	63	38	0	0	100
				生徒		-	-	-	-	
				保護者		-	-	-	-	
				地域		-	-	-	-	
	学校関係者評価委員の所見	生徒が企画に参加しての夏祭りや、学校西に美しいコスモス畑を作る等、地域の方々との結び付いての地域貢献活動が定着してきた。生徒のボランティアに対する意識が高まってきている。「児童生徒をまもり育てる協議会」では、地域や関係機関と連携し、生徒の健全育成に努めることができた。	学校の対応	保護者や地域、関係機関の協力の下、生徒が安全に通学ができるよう細やかな指導をした。引き続き、交通安全教室や平素の安全指導、登下校指導、避難訓練の充実に努め、生徒の安全確保を図るとともに、交通ルールを進んで守る等、自ら命を守る行動を取ることができるような態度を醸成し、能力を育成する。						
	学習が遅れがちな生徒や配慮を要する生徒への適切な指導ができている。(個別指導や学習相談等) 目標値：肯定率80%(教⑱・生⑲・保⑦)	A	学習支援ボランティアやチーム・ティーチング等により、生徒の個別最適な学びを目指して基礎・基本の定着を図った。保護者の評価がBであるが、昨年度より7%上昇しており、学校の取組への理解が進んできた。今後も保護者と連携し、今後も継続して指導の充実を図る。	教職員⑱	A	63	31	6	0	94
				生徒⑲	A	48	42	8	2	90
				保護者⑦	B	15	62	18	5	77
				地域		-	-	-	-	
	特別支援教育に対する教職員の共通理解が図られ協力体制を整えている。 目標値：肯定率80%(教⑲)	A	支援が必要な生徒について、今年度も定期的に職員会等(ケース会議)を開催し、全教職員で共通理解を図り、関係機関と緊密に連携しながら、一貫した支援を組織的に行ってきた。今後も生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、支援を充実させていく。	教職員⑲	A	38	63	0	0	100
				生徒		-	-	-	-	
				保護者		-	-	-	-	
				地域		-	-	-	-	
学校関係者評価委員の所見	地域ボランティアや教職員の生徒一人ひとりへの丁寧な指導が功を奏している。テスト期間中の個別指導もなされており、県の調査等でも学力向上の成果が表れている。特別支援教育についても、全校体制での取組ができている。今後更なる学びの場の確保に学校や地域で取り組みたい。	学校の対応	地域ボランティアやチーム・ティーチングの活用や、教職員が個別に学習相談を実施など、誰一人取り残さない確かな学力の育成を目指してきた。また、関係機関と連携を密にして生徒に寄り添った生徒指導に取り組んできた。引き続き保護者や関係機関と緊密な連携を取り、適切な支援や指導ができるよう取り組んでいきたい。							

項目	質問内容及び目標値	総合	学校による考察・改善方法			評価	アンケート結果(%)				肯定率
							1	2	3	4 (1, 2の計)	
研修	研修計画に沿って授業研究に取り組み授業力の向上に努めている。	A	授業研究や人権・同和教育研修等、校長のリーダーシップの下、教職員の真剣な取組により研修を深めることができた。ICTの活用など、積極的な授業改善の取組も定着した。今後も「分かる授業」を展開するため、各教科の指導方法の改善や、教職員の研修を計画的に実施したい。	教職員⑳	A	38	56	6	0	94	
	生徒				-	-	-	-			
	保護者				-	-	-	-			
	地域				-	-	-	-			
	業務改善に取り組むとともに、健全な社会人として信頼されるよう努めている。	A	今後も教育公務員としてのサービスの徹底や綱紀の厳正を推進し、成果が上がった。一方で、様々な業務改善に取り組んできたが、道半ばである。心身ともに健全であるような業務改善に一層力を入れ、生徒や保護者、地域から信頼される教職員を目指す。	教職員㉑	A	56	44	0	0	100	
	教職員㉒			B	19	56	19	6	75		
生徒				-	-	-	-				
保護者				-	-	-	-				
	目標値: 肯定率80%(教㉑、㉒)				-	-	-	-			
学校関係者評価委員の所見	ICTの有効な活用等不断の研修により、「分かる授業」に向けた改善が進み、業務改善を進めている。人権同和教育の研修も、計画的に熱意を持って取り組んでいる。今後も業務改善により子どもと向き合う時間を確保するとともに、指導力の更なる向上を目指してほしい。		学校の対応	様々な事例から学ぶ研修や自己点検により、保護者・地域から信頼されるよう、サービスの徹底や綱紀の厳正等に取り組んできた。また、コミスク・地域コーディネーターや学校補助員・生活支援員の導入、PTA活動の精選等、業務改善に取り組んだ。今後もこうした取組を継続し、教職員が生き生きと生徒たちに向き合うことができるよう努めたい。							
地域連携	学校教育の様子を学校だよりやホームページ等で情報発信している。	A	今年度も学校便りやホームページ、テトル、PTA広報誌などの機会を可能な限り活用して、学校の様子を伝え、地域や保護者との連携を深めるよう努めた。また、みかん園の取組を「広報いよし」や新聞報道等で広く伝えることもできた。今後も一層の充実を図りたい。	教職員㉓	A	44	56	0	0	100	
	生徒 ⑱			A	59	34	3	4	93		
	保護者⑭			A	46	46	9	0	91		
	地域 ④			A	63	29	2	0	92		
	目標値: 肯定率80%(教㉓・生⑱・保⑭・地④)										
	地域の教育資源(ひと・もの・こと)を生かした活動を推進している。「来てもらったり、出向いたり・・・」	A	コミュニティスクールや地域コーディネーターの協力の下、農園作り、みかん栽培、職場体験学習、地域貢献活動等を円滑に実施することができた。また、盆踊り大会やコスモス畑作りにボランティアとして取り組むことができた。生徒は地域の中で生きていることを実感することができた。今後も一層の充実を図りたい。	教職員㉔	A	50	50	0	0	100	
	生徒 ⑲			A	67	30	3	1	96		
	保護者⑮			A	38	59	3	0	97		
	地域 ⑤			A	48	38	2	0	86		
	目標値: 肯定率80%(教㉔・生⑲・保⑮・地⑤)										
	学校から発信した文書類は、保護者の手元に確実に届いている。	B	文書類を渡せていないと感じる生徒がおり、手元に届きにくいと感じている保護者もいる。ラインズメールを活用したり、校内放送等で生徒への徹底を図ったりしてきた。今後も確実に学校からの情報が速やかに伝わるよう基本的生活習慣と関連させ、継続して指導する。	教職員		-	-	-	-		
	生徒 ③			A	38	43	17	2	81		
保護者③	B			20	51	26	4	70			
地域				-	-	-	-				
目標値: 肯定率80%(生③・保③)											
学校、PTA、地域は様々な行事を通して、よく協力して活動している。	A	教育後援会の寄付金では、区長を始め地域のの方々やPTAの方々の尽力の下、多大なるご支援をいただくことができた。PTAによる運動会や文化祭でのバザーも定着してきた。今後も地域の方々への、学校の取組についての周知を図りながら、効果的で充実した活動となるよう努める。	教職員㉕	A	50	44	6	0	94		
生徒 ㉑			A	62	31	5	1	93			
保護者⑯			A	54	45	1	0	99			
地域 ⑥			B	41	35	7	2	76			
目標値: 肯定率80%(教㉕・生㉑・保⑯・地⑥)											
学校関係者評価委員の所見	コミュニティスクール(学校運営協議会)の導入により、地域と学校との連携が効果的になされ、地域の協力の下、生徒の意欲的な活動を引き出すことができた。新たな連絡ツールを導入することにより家庭との連絡が一層確実になった。今後も有効に活用し、学校と家庭の連携を一層深めてほしい。		学校の対応	学校便りやホームページ、報道等で学校の様子を伝えた。職場体験学習やしめ飾り作り等、地域から協力を得ることができた。公民館や地域のお陰で、生徒の健やかな成長を促すことができた。今後もホームページ等の一層の充実を図るとともに、保護者や地域との連携を密にして教育活動を進めたい。							
施設	施設・設備や教材・教具が充実していて、活用している。	A	限られた予算の中ではあるが、必要性の高い教材・教具から順次購入していくようにしたい。	教職員㉖	A	38	63	0	0	100	
	生徒 ㉒			A	38	43	14	5	81		
	保護者				-	-	-	-			
	地域				-	-	-	-			
目標値: 肯定率80%(教㉖・生㉒)											
学校関係者評価委員の所見	歴史のある学校のため、施設に傷んだ箇所も目立つようになってきている。地域の人々にとって思い出深い施設である。予算的に厳しいとは思いますが、今後も市教育委員会と連携しながらより良い教育環境作りに取り組んでほしい。		学校の対応	現有の施設・備品を整備していただいていることに感謝の気持ちを持ち、また地域の方々にとっても大切な施設であることを心掛け、生徒とともに丁寧に使用していくようにしたい。安全管理に努め、破損箇所の修繕や備品の更新は市教育委員会と相談しながら進めており、今後も可能な限り速やかに対応したい。							